



とびっくす

No.110

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

令和4年度秋季ヤマトシジミ資源量調査結果 ～宍道湖のヤマトシジミ資源は本年春季から大きく増加～

島根県水産技術センター内水面浅海部では、毎年6月(春季)と10月(秋季)に宍道湖に生息するヤマトシジミ(殻長2mm以上)の資源量を推定するための調査を行っています。今年度の春季調査を10月6・7・12・13・14日に実施しましたので結果を報告します。

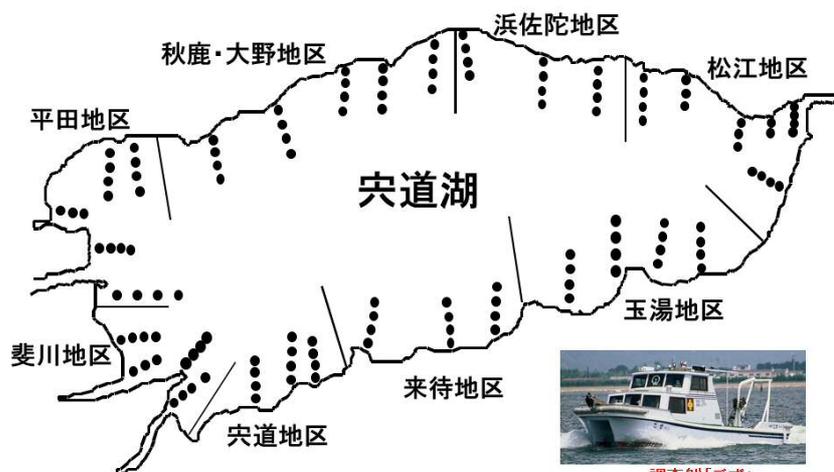


図1 調査地点

調査方法

図1に示す調査定点(126ヶ所)において調査船「ごず」を使用し、スミス・マッキンタイヤ採泥器で各定点2回(面積0.1m²)、湖底の砂泥と一緒にヤマトシジミを採集しました。採集した砂泥サンプルは、フルイでサイズ別に選別し、生息密度と水深別の漁場面積から宍道湖全体の資源量を算出しました。

調査結果および考察

令和4年度秋季のヤマトシジミの資源量(表)は約7万1千8百トン、1,125億個が生息していると推定されました。本年春季(約3万3千4百トン)と比べると、約3万8千4百トン(215%)の増加、昨年秋季(約3万6千3百トン)からは約3万5千5百トン(198%)の増加(図2)で推移しています。

内訳をみると、漁獲対象となる殻長17mm以上のサイズは、約4万6千2百トン、167億個でした。これは、平成14年に詳細な資源量調査を開始して以降の、

秋季資源量の過去21年平均値(約1万7千6百トン)の262%でした。また本年春季(約2万1千9百トン)と比較すると211%で、急激な増加を示していました。今季の大幅な増加は、春季に確認さ

表 ヤマトシジミの資源量

サイズ		重量 (トン)	個体数 (億個)
未成貝	殻長12mm未満	8,893	771
成貝	殻長12mm以上17mm未満	16,741	186
	殻長17mm以上(漁獲対象)	46,169	167
	成貝合計	62,910	354
全資源量		71,802	1,125

れた未成員や漁獲サイズに達していない小型成員が、春季以降宍道湖がシジミの成育に好適な環境(比較的塩分が高く、餌料条件が良好、水草の影響が少なかった等)に恵まれ、成長、生残が大きく向上したことによるものと推察されます。

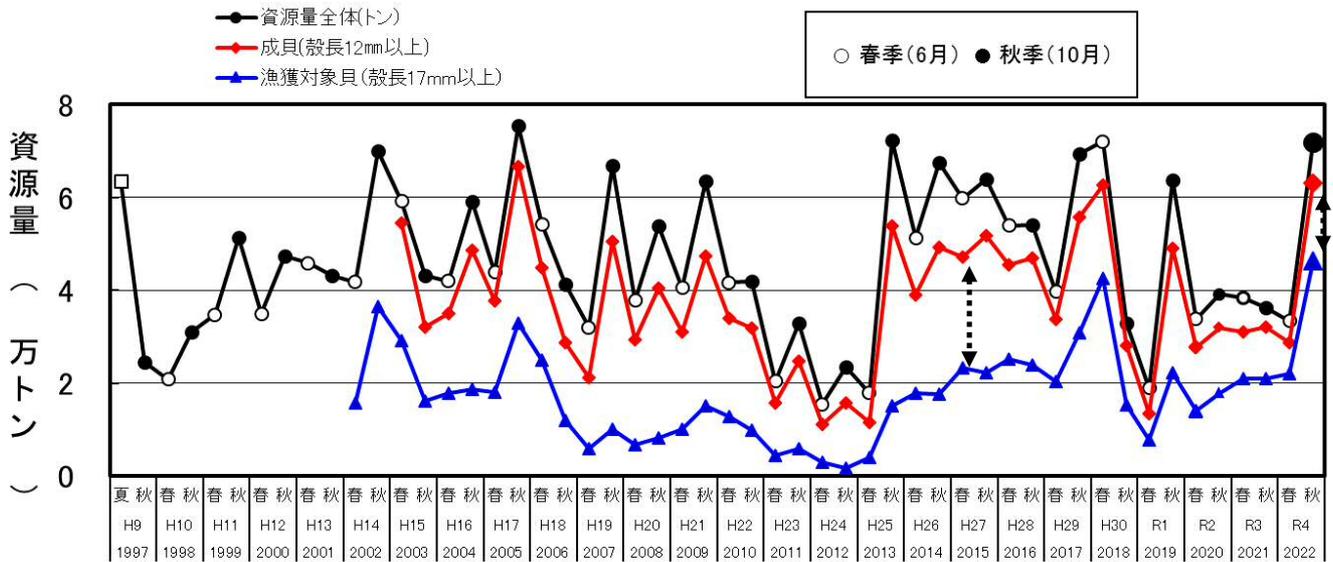


図2 宍道湖のヤマトシジミ資源量の推移

今後の見通し

今季の資源量は過去と比較して高水準にあり、特に漁獲対象資源については過去最高レベルにまで到達していました(図 2)。しかしながら漁獲対象となる直前の小型成員(殻長 12 mm 以上 17 mm 未満)は本年春季に比べると増加してはいたものの(図 3)、資源全体が安定的に高水準で維持されていた平成 25 年～28 年には及びません(図 2:成員と漁獲対象員との差分、上下矢印)。

当面の漁獲量は高水準にある漁獲対象資源に支えられ比較的安定したものとなると考えられますが、長期的な漁獲の安定には小型成員の資源水準の向上が不可欠となります。

今後も引き続き資源動向を注視するとともに、漁獲対象資源の計画的な利用や、未成員資源の保護に向けた生育場の管理に取り組むことが必要と考えられます。

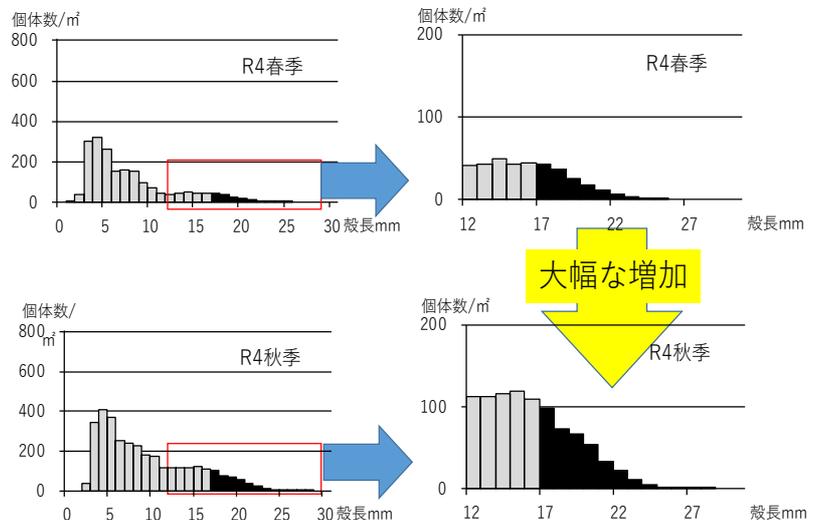


図3 宍道湖全体のヤマトシジミの殻長組成 (R4年春～秋 全調査地点の平均)

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1
 TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079
 ホームページ: <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>
 E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp